

新幹線プレス

2018年1月1日

377号

発行者 成田 隆浩

編集者 教 宣 部

J R東海労新幹線地本

謹賀新年

明けましておめでとうございます。

昨一年間は、多くの取り組みに、組合員・家族、そしてOB会の皆さんに参加いただきました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

昨年の総選挙で改憲勢力の台頭を許してしまったことにより、安倍首相からは、改憲へ向けた行程をドラスティックに展開しています。改憲のための国民投票にNOを突き付けるために全力で闘わなくてはなりません。

さらに、政府は「世界一企業活動しやすい国」にするために「働き方改革」と称した労働者搾取のための攻撃を仕掛けています。

今こそ労働組合の存在価値が問われているときはありません。いま闘っている、年休裁判、診断書強要都労委、ボーナスカット裁判を職場活動と結合し、各分会の独自の取り組みを展開することを通じて労働者の結集を勝ち取らなくてはなりません。

また、J R東海内においては、「新幹線社内業務見直し」をはじめとする、効率化Ⅱ要員削減攻撃が画されています。

これらは、ほころびが見え始めた「リニア中央新幹線計画」推進のための経費捻出のために、安全や整合性を無視して強引に進められています。今年も多くの闘いに挑まなければなりません。すべての闘いをJ R東海労の強化・拡大に結実するために奮闘しようではありませんか！

執行委員長

成田 隆浩

執行副委員長

小林 正明

〃

土川 節夫

書記 長

杉澤 秀則

総務財政部長

小林 昇

企画部長

伊藤 一也

組織部長

安久沢雅行

政治法対部長

木藤 純宏

共闘サークル部長

田村 浩彰

業務部長

剣持 善昭

教宣部長

庭山 義輝

特別執行委員

平山 裕一

〃

鎌田 隆一

〃

布施 喜一

〃

上田 幸二

会計監査

佐久間 努

明けましておめでとうございます。昨年の新幹線地本を中心とした、様々な組合運動に取り組みました仲間にご挨拶を申し上げます。安倍内閣は国民をだましつづけ、数の力で憲法改正九条改悪の道に突き進んでいます。私たちはこれまで以上の反対の取り組みに邁進しなければなりません。力を結集し頑張ってください。

また、年休裁判、カット裁判、診断書強要都労委と柱となる会社との闘いが始まりました。これらの闘いを、車両所分会全員が参加し共に闘うことを目標とし、今年一年頑張ります。これまでもそうでありましたが、今まで以上に一つひとつの課題に向かう姿勢を内外に示し、共感の輪を広げていき組織拡大を最大の目標として取り組んでいきます。これからもよろしく願います。

東京車両所分会長 板倉 晋

新たな年の幕開けです。今年も宜しく願います。

昨年の夏ボーナス支給において、川本さんに対して不当なカット攻撃がありました。これは我たちの仲間が本人訴訟・労働審判で闘ってきた、一昨年の冬のボーナス支給において結成以来続いていた不当カットを許さなかった大勝利に対しての報復の攻撃である事は明白です。私たち分会は川本さんにかげられた攻撃に対して全組合員で反撃の闘いに立ち上がります。東一分会の決意です。

東京第一運輸所分会長 滝波 武

明けましておめでとうございます。昨年の衆議院選挙にて、与党が改憲発議に必要な3分の2以上を超え、「戦争の出来る国」へ推し進められていきます。安倍政権の暴走を止め、安心して暮らせる平和な社会を実現するために奮闘しましょう。

職場では年休が毎年当たり前のように失効しています。慢性的な要員不足の解消のため提訴しました。「新幹線車内業務見直し」は労働強化、サービスの低下、安全面に問題があります。厳しい一年になりますが、団結して頑張ります。

東京第二運輸所分会長 今城 敬一

私たち東京地区分会の神保亨さんが、11月29日にお亡くなりになりました。分会大会や旅行会などには、必ず顔を出してくれました。私たちは、貴方の事を決して忘れません。ご冥福をお祈りします。

今年は「車椅子業務と遺失物業務がSMTに移管される」という噂が流れています。車掌削減などの効率化が実施されるなかで、駅業務の効率化も予測されます。私たちはサービス低下、業務量増大に反対する声を上げていきます。

東京地区分会長 佐藤 雅己

明けましておめでとうございます。

問題が山積しております。三島車両所分会は少人数ではありますが、微力ながら共に連帯し、職場そして地域から取組みを進め、皆様と一緒に活動に参加していきたいと存じます。

本年も昨年同様に、宜しく願って申し上げます。

三島車両所分会長 土屋 浩一

明けましておめでとうございます。正直申しまして今年には特に「めでたくもあり、めでたくもなし!」と言う心境です。昨年「2/3の力」を背景に安倍政権の暴走が続いています。森友・加計問題や「共謀罪法」の成立、総選挙での自公の圧勝などで当たり前のこと、常識なことも通用せず「規則も法もないがしろにされる社会」へと転落しています。大手企業のデータ改ざん問題は続出し、JR東海のリニア建設を巡る「不正入札問題」など政財界の腐敗はとどまることを知りません。「どげんか、せんといかん!」と言う事態です。職場からの一つひとつの闘いを基礎に前進していきましょう。

地本OB会々長 伊藤 勝